

2022(令和4)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2022年7月16日(土) 1回目：13時～14時 2回目：14時～15時：定員8名
【会場】 ①普天間宮(屋外:定員なし) ②新オレンジサポート室(宜野湾市普天間1-9-3)

2. 本日のプログラム 1回目現地集合：普天間宮境内巡り 2回目：交流会（近況報告）

3. 参加者数 1回目 24人（内訳：当事者3名、家族13名、専門職8名）
2回目 12人（内訳：当事者1名、家族6名、専門職5名）※ト者含む

4. 当日の様子

5月のカフェで参加者から普天間宮の境内散策の要望があり、「大人の外歩きイベント第1弾!!」を開催致しました。晴天に恵まれ、参加希望者も20名を超える状況でした。アガペ会法人の職員・うるま市と那覇包括推進員の協力もあって、大人数での境内巡り…何とかサポート出来ました。屋外の活動第1弾でしたが、思った以上に暑く、鍾乳洞も人数が多かった為か“ひんやり”ではなく…滴る汗を拭きながら神主さんの歴史に耳を傾けました。参加者の生き生きとした表情が印象的でした。2回目は事務所に移動して、交流会を行いました。県の担当者お二人も参加され、当事者・家族の声を直接聞ける交流会となりました。

5. 所感

屋外に出での初イベントでしたが、思った以上の申込人数で…若松病院職員・専門職の方の協力なしでは成し遂げられなかったと実感。本当に心から感謝です!!暑さも境内巡り終了して、交流会参加を断念する当事者・家族1組もあり…沖縄の暑さ対策もさらに入念に準備しなくては…と思いました。



以上